

新地方公会計制度における財務書類について

市では、「新地方公会計制度」に基づき、平成 22 年度決算による財務書類 4 表（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）を作成しました。

財務書類 4 表を作成することにより、これまでの財政運営の結果である市の資産や借入金等のストック情報や行政サービスの提供に要したコスト情報等、従来の決算書だけでは把握が難しかった財務情報を補うことができます。

さらに、平成 22 年度決算による財務書類では、本市の資産について公正価値評価を行い、固定資産の把握に努めました。これにより、企業会計に準じた発生主義・複式簿記を基に財務書類 4 表を作成できるようになりました。

今後は、本市の現状をより適正に示すために作成した財務書類 4 表を基に、わかりやすい財政状況の公表と財務書類 4 表を活用した健全な財政運営に努めます。

財務書類の作成基準

【作成モデル】 基準モデルに基づき財務書類を作成しました。

【作成基準日】 平成 23 年 3 月 31 日（平成 22 年度末日）

【対象会計の範囲】

普通会計：一般会計及び住宅新築資金等貸付金特別会計

単体会計：普通会計、下水道事業特別会計、国民健康保険特別会計、老人保健事業特別会計、駐車場事業特別会計、簡易水道事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計

連結会計：単体会計、桜井市土地開発公社、(財)桜井市医療センター、(財)桜井市清掃公社、(財)桜井市文化財協会、(財)桜井市体育協会、桜井宇陀広域連合、奈良県後期高齢者医療広域連合、奈良広域水質検査センター組合

普通会計概要版

貸借対照表	
資産 1097.0 億円	負債 301.8 億円
市が所有している財産の内容と金額です。行政サービスの提供能力を示しています。	借入金（地方債）や将来の職員の退職金など、将来世代の負担で返済していく債務です。
資金 2.4 億円	地方債（短期・長期） 247.8 億円
金融資産 27.4 億円 （基金、出資金、税等未収金・貸付金など）	退職給付引当金 47.5 億円
事業用資産 387.5 億円 （庁舎、学校、幼稚園、保育所、市営住宅など）	流動負債など 6.5 億円
インフラ資産 679.7 億円 （道路、公園、グリーンパークなど）	純資産 795.2 億円
	現在までの世代がすでに負担して、支払いが済んでいる正味の資産です。

単体会計概要版

単体貸借対照表	
資産 1466.9 億円	負債 455.2 億円
	純資産 1011.7 億円

連結会計概要版

連結貸借対照表	
資産 1484.6 億円	負債 472.4 億円
	純資産 1012.2 億円

なお、ホームページにおいて、普通会計、単体会計及び連結会計の財務書類 4 表（貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）、用語説明、財務指標を活用した分析などを掲載しています。また、市役所 3 階情報公開コーナーでも閲覧できます。

【財政課】